

第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

保険者名	貴自治体において第8期介護保険事業計画に記載している内容					令和3年度（年度末実績）				公表の状況		
	項目名	細目名	目標を設定するに至った「現状と課題」	第8期計画における「取組」	「目標」（事業内容、指標等）	中間見直し	取組の具体的な実施内容、実績	自己評価	評価の理由	課題と対応策	実施状況	公表の方法
松伏町	①自立支援・介護予防・重度化防止	介護予防の普及啓発	本町の要支援・要介護認定者数の推計をみると、年々増加を続け、計画最終年の令和5年には1,250人となり、ピークを迎える令和17年には1,571人となることが見込まれます。 また、今後75歳以上の後期高齢者が増加していくことから、第1号被保険者認定率も年々上昇していくことが見込まれます。	・介護予防普及啓発事業 「いきいき健康体操教室」と「音楽健康クラブ」を継続して実施し、介護予防の基本的な知識を普及・啓発します。	いきいき健康体操教室実施会場数 R2 10か所 実績 R3 10か所 計画 R4 11か所 計画 R5 11か所 計画	なし	いきいき健康体操教室実施内容 11会場で168回実施し、延べ1,736人参加 関連事業 音楽健康クラブ/34回実施 延べ1,858人参加 男性のための健康教室/9回実施 延べ154人参加 花王メイク&スキンケア教室/14人参加	◎	いきいき健康体操を11会場で実施したほか、新たに男性のための体操教室と花王メイク&スキンケア教室を実施し、介護予防の取組を推進しました。	介護予防の正しい知識を普及・啓発するため、多くの参加者が見込めない地域でも、いきいき健康体操教室を開催していきます。	実施	ホームページ
松伏町	①自立支援・介護予防・重度化防止	通いの場の実施	高齢者の生活機能の低下リスクの該当状況は、「うつ傾向」が6割強、「認知機能」が4割強、「転倒」が3割強、「口腔機能」が2割強などとなっています。 今後、さらなる高齢化により、リスクを抱える高齢者の増加が見込まれることから、こうした生活機能の低下を防ぐ介護予防の取組を推進していくことが重要です。	・地域介護予防活動支援事業 現在、住民が主体となり、集会所等で「ご近所さん体操」を実施しています。高齢者が身近な地域で体操に参加できるように、サポーターの育成に取り組みます。	ご近所さん体操実施会場数、指導者数 R2 15か所、12人 実績 R3 16か所、14人 計画 R4 16か所、16人 計画 R5 16か所、19人 計画	なし	ご近所さん体操実施内容 実施会場数 20団体、451人が活動 指導者 19人 関連事業 交流大会/134人参加 ボランティア養成講座/修了者17人	◎	自治会等への謝金の支給や、サポーター養成講座の取組により、実施団体数、指導員数ともに計画を上回りました。	高齢者の自立支援・重度化防止のためには、通いの場は多数必要ですが、行政職員が毎回行って指導することは不可能です。今後、住民が主体となり運営していけるよう、既存のサポーターに対してフォローアップ講座を開催していきます。	実施	ホームページ
松伏町	②給付適正化	給付実績の活用による適正化	本町の要支援・要介護認定者数の推計をみると、年々増加を続けています。また、介護給付費においても年3%程で増加が続き、今後も給付費の増加が見込まれることから、要介護認定の適正化、ケアプラン点検や縦覧点検などで給付の適正化を図ることが不可欠です。	介護給付の適正化のため、要介護認定の適正化、ケアプランの点検、住宅改修等の点検、縦覧点検・医療情報との突合及び介護給付費通知といったいわゆる主要5事業を実施します。	・要介護認定の適正化 ・ケアプラン点検 ・住宅改修等の点検 ・縦覧点検・医療情報との突合 ・介護給付費通知	なし	・ケアプラン点検 全事業所 ・医療情報との突合 適宜 ・縦覧点検 適宜 ・介護給付費通知 年2回	◎	事業所の協力を得てケアプランの点検をし、3件のプランを適正に改善することができました。毎月の国保連データを用いて医療介護の重複事業、縦覧による過請求事案の訂正により介護給付を適正に改善することができました。	今後も介護給付請求後の点検だけでなく、事業所への研修を介して介護請求の適正化に努めるとともに算定に係る届出等の指導を進めていきます。	実施	ホームページ